

2023年10月23日

エムエム建材株式会社
リバー株式会社
東京製鐵株式会社

リバー藤沢事業所建替工事に伴う、鉄スクラップと 鋼材の循環スキーム（鉄のクローズド・ループ）の取り組みに関して

TRE ホールディングスグループのリバー株式会社（代表取締役社長 松岡 直人、以下、「リバー」という。）、東京製鐵株式会社（代表取締役社長 奈良 暢明、以下、「東京製鐵」という。）、エムエム建材株式会社（代表取締役社長 温井 健夫、以下、「エムエム建材」という。）の3社は、リバー藤沢事業所の建替工事に伴う解体工事で発生する鉄スクラップを電炉メーカーである東京製鐵に納入し、その製品を同事業所の新築建材として使用する循環スキーム「鉄のクローズド・ループ」の取り組みについて合意致しました。

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、国内建築物のライフサイクルを通じて発生する温室効果ガス削減に貢献する為、建設業界にとって、国内循環するリサイクルフロー確立の必要性は急速に高まっております。また、我が国のカーボンニュートラル実現の観点からも解体現場で発生した鉄スクラップを国内で資源循環させることは極めて重要です。

然しながら、鉄スクラップ、鋼材は共に国内外の経済動向により、市況及び需給が短期間に変化し、海外への輸出も含め、投機目的を含む短期的な経済合理性のみで売買の判断が行われております。加えて、建設業界では従来より、解体工事段階で、同工事から発生する鉄スクラップのリサイクル先の指定や、国内循環の可視化・明確化が困難な状況が続いております。

今般の循環スキームではリバー、東京製鐵、エムエム建材の3社が、リバー藤沢事業所の建替工事に際し、解体工事で発生する鉄スクラップを東京製鐵に納入し、同事業所の鉄骨工事で使用する鋼材を東京製鐵の製品とする事を事前合意した上で建替工事に着工致しました。このような、関係者と連携した循環スキーム「鉄のクローズド・ループ」の取り組みにより、鉄スクラップの国内循環の可視化・明確化を実現するものです。

今後、今般の取り組みを含め、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを継続して参ります。

<取組図>



<工事概要>

工事名称	(仮称) リバー株式会社藤沢事業所建替工事
施工場所	神奈川県藤沢市葛原字滝谷戸 1786 他
新築構造/階数	S 造/ (工場棟) 地上 2 階、(事務所棟) 地上 3 階
新築延床面積	(工場棟) 1,318.40 m ² (事務所棟) 348.90 m ²
工事期間	2023 年 8 月～2025 年 9 月末

エムエム建材に於いての当取組の位置付けは、同社が目指す「建設産業の低炭素循環ネットワーク構築」を通して、建設産業の鋼材リサイクル率向上（再生製鋼原料の使用拡大）に貢献するものであり、今後も同ネットワークの構築に向け邁進して参ります。

以上

※本件に関するお問い合わせ先
エムエム建材株式会社
サステナビリティ推進部
org_0182100@mokmbs.com